

徳島大学にしあわ学舎「世界とつながるまちづくり」事業
「あなたの街を英語で知ろう！」プロジェクト

ポートランダー・マツ・ビボーさんと
輪になって、歩いて、デザインする

「おかえりなさい、にしあわ英語旅」

外国人観光客おもてなしプログラム開発WSその2

2016年7月から始まった徳島大学「にしあわ英語旅」プロジェクト。全米で最も住みたい町ポートランドからゲストを迎えて第3回を開催します。今回は、前回のゲスト、マツ・ビボーさん(パーマカルチャー子ども教育研究所)が皆さんともう一度会いたいと再来徳。加えて、ポートランドで「暮らすように旅をする」機会のデザインや都市近郊教育農場での「ポップアップランチ」のプロデュースしながら子育てに頑張っているユリ・バクスター・ニールさんを迎え、繰り返し訪れたいおもてなしとは何か、そもそも旅とは何かについてを考えます。今回は本プログラムのこれまでを振り返り、まとめ、次年度に向けた計画づくりに取り組みます。初回に提起された4つの課題がどこまで達成されたかもチェックし、にしあわ英語旅のゴールについて考えます。

ゲスト：

ポートランド

パーマカルチャー子ども教育研究所代表

マツ・ビボーさん

ポートランド

ライフサンプリング代表

ユリ・カワノ・バクスター・ニールさん

3/16 (木) 10:00~15:30

場所：談山(たんざん)

徳島県三好市東祖谷落合142

※にしあわ学舎⇄東祖谷(送迎あり)

◆タイムスケジュール◆

10:00~12:00

「英語ガイド演習」モデルコースづくりに取り組みます
落合集落フィールドワーク
地元ガイドさんによる案内

12:00~13:30@談山

「地産地消 東祖谷ケータリングランチ」

13:30~15:00@談山

「外国人観光客おもてなしプログラム開発WS」

話題提供：

①「私が祖谷に帰ってきた理由」
マツ・ビボー

②「私が祖谷を訪れた理由」
ユリ・カワノ・バクスター・ニール

③「落合集落における、茅葺古民家を活用した空家再生」
三好市産業観光部観光課
主任主査 中西 章

※初回提起の課題1(住民学習プログラム)

※初回提起の課題2(情報発信)

※初回提起の課題3(モデルコースづくり)

※初回提起の課題4(公共の「場」づくり)

これらのデザインとプロトタイピングを完成させながら
今年度事業の成果をまとめます。

主催：徳島大学にしあわ学舎、地域創生センター

共催：徳島県、美馬市、三好市、つるぎ町、東みよし町

詳細：<http://www.tokushima-u.ac.jp/cr/> 問い合わせ：chkoukenk@tokushima-u.ac.jp